

大原中だより

さいたま市立大原中学校

☎ 048-831-5397

FAX 048-835-1357

第11号

はつらつとした学校、地域に輝く学校

平成30年 3月 1日

メールアドレス:ohara-j@saitama-city.ed.jp ホームページ:http://ohara-j.saitama-city.ed.jp/

より楽しく より豊かに 感動いっぱい大原中学校

校長 中島 俊尚

日本人選手の大活躍から多くの感動を味わえたピョンチャンオリンピックが閉幕しました。各選手の感動いっぱいのパフォーマンスに心から酔いしれました。例えば、女子団体パシュートやカーリングでは「本物のチームワークとは何か」を学びました。生徒もこのオリンピックから、たくさんの力や勇気をもって、これから待ち受けている困難をひとつずつ乗り越えて、各自、それぞれの目標に向かってほしいと期待しています。

本日3月1日は、1、2年生にとっては学年末テスト初日、そして3年生にとっては県公立高校の学力検査です。204名の3年生が第1希望の県公立高校に挑戦しています。生徒には、これまで準備し、蓄えてきた力を存分に発揮してほしいと強く願っています。

さて、2月23日から2泊3日の日程で実施された、2年生の館岩自然の教室（スキー実習）は、天候に恵まれ、大きな事故もなく、計画通りに実施できました。昨年12月に開催した生徒・保護者同席の館岩説明会では、「校長あいさつ」の中で次の4点を生徒に求めました、



- (1) 館岩の自然を、特に冬の自然を思う存分味わってこること
- (2) 健康に気をつけること、特にけがや病気から、自分の身は自分で守ること
- (3) 集団での宿泊を通して、友だちのよさをたくさん発見し、集団生活のルールやマナーにしっかり磨きをかけること
- (4) スキー実習はもちろん、キャンドルファイヤー（学年レク）など、その他の体験学習にも楽しく取り組み、ひとつでも多く感動を味わってこること

私に代わって引率責任者を務めた教頭からも、「(1)から(4)まで、ほぼ達成できた素晴らしい自然の教室でした」とうれしい報告を受けました。今後の2年生の成長が本当に楽しみです。頼りの3年生はあと2週間で卒業してしまいます。学校の顔として強い自覚をもってください。

また、1月末に実施しました1年生の職場体験「未来くるワーク」ではその成果を裏付ける温かなお手紙を市民の方からいただきました。その一部を紹介させていただきます、



「毎朝ラジオ体操や昼過ぎに木々の花々を愛でながら駒場運動公園の散策を日課にしている高齢者です。先日の散策の折に時計台の下の木製のベンチを、先生の指導の下、数人の中学生がリフォームしている姿に出会いました。私は公園内の公共物は市が管理し掃除や修理をしてくださっているものと頭から思い込んでおりましたので、本当に驚き、感激いたしました。何気なく毎日座っているベンチを、孫のような中学の生徒さんが、寒い時期に黙々とカンナを手手に修理してくださっている姿には心から感動うれしく、思わず涙がこぼれました。大原中学校の学生さん、ありが

とうございました。ひとつずつ修理してくださるとか。悪い風邪が流行しております、体に十分お気をつけください。」

今年度最後の学校だよりをうれしいお手紙で締めくくることができ、とても幸せです。保護者・地域のみなさま、平成29年度もたいへんお世話になり、ありがとうございました。みなさまのますますのご健勝とご多幸を祈りながら、最終号のことばとさせていただきます。

追伸 保護者のみなさま、生徒会誌「あゆみ」第66号に「思いやりのトレーニング」という題で原稿を書きました。まもなく発行となります。こちらもぜひお読みください。